

令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	11. 文化財保存整備事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
臨時	単独	計画	0	0	0	実施計画	第3章	地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産 業・観光・文化）	21,164
							基本施策4	文化・芸術振興	9,537
									11,627
									0
							施策1	歴史・文化資産を保全・活用します	0
								0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	9,473	
本年度当初査定額	9,472	9,472

財源内訳	国庫支出金	繰入金				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				9,473	△9,473
本年度当初査定額	314	9,158				0	0

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・指定・登録文化財等の保存・整備・活用に対する補助 ・文化財保存活用地域計画の策定</p>	<p>(事業の目的) ・指定・登録文化財の所有者・管理者の負担を軽減し、 文化財を適切に保存・整備します。 ・文化財の保存・活用に関して、将来的なビジョンや具体的な事業等の 実施計画を定めます。</p>	<p>(事業の効果) ・佐倉の歴史文化遺産を良好な状態で、後世に継承して いきます。 ・計画を策定することにより、文化財の積極的な保存・活用の推進をは かります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・指定・登録文化財の現況をよく把握しながら、 計画的に保存整備を進める必要があります。 ・文化財保存活用地域計画を早期に策定する必要があり、未策定の場合 、今度、財政上の配慮を受けられなくなる可能性があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・指定・登録文化財の適切な保存・整備のため、 令和2年度より文化財補助事業と統合しています。 ・本事業の目的は、市内の文化財の保存・活用に関する事項の実施であ ることから、文化財保存活用地域計画策定に係る予算を新規に計上して います。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・補助金の交付にあたっては所有者・管理者との 協議を進めながら実施します。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	257	0	257
08	57	0	57
18	9,158	12,416	△3,258

節	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	16	02	06	04	03	00	文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進	315	314	0	314
	20	01	01	01	03	00	文化振興積立基金繰入金	9,158	9,158	12,141	△2,983
差引一般財源								△9,473	0	△12,141	12,141